

第1号議案 令和6年度事業執行状況に関する件

令和6年度事業執行状況報告書

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

令和6年度の事業については、事業計画に基づいて、職業能力開発推進事業と職業能力検定等の実施及び若年技能者の人材育成支援等を行い、労働者の職業能力開発向上を図るとともに、技能尊重の気運の高揚に努めた。特に、山梨県立中小企業人材開発センターの運営は、自主講座の開設、教育訓練への研修室貸出を重点的に展開し、概ね順調に進展している。

1. 総会及び役員会

(1) 第46回通常総会の開催

令和6年5月21日(火)午後2時から、山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、会員数327のところ委任状提出者を含めた241名で次の案件を審議し、原案どおり可決又は承認された。

1) 令和5年度事業執行状況報告に関する件

2) 令和5年度収支補正予算及び決算に関する件

令和5年度一般会計収支決算

令和5年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支決算

令和5年度退職手当積立金特別会計収支決算

令和5年度認定職業訓練特別会計収支決算

令和5年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支決算

令和5年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支決算

令和5年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支決算

令和5年度やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ特別会計収支決算

令和5年度財政調整積立金特別会計収支決算

監査報告

余剰金の処分について(案)

3) 令和6年度事業計画(案)に関する件

4) 令和6年度収支予算(案)に関する件

令和6年度一般会計収支予算(案)

令和6年度一般会計備品等購入積立金特別会計収支予算(案)

令和6年度退職手当積立金特別会計収支予算(案)

令和6年度認定職業訓練特別会計収支予算(案)

令和6年度コンピュータサービス技能評価特別会計収支予算(案)

令和6年度山梨県立中小企業人材開発センター運営管理特別会計収支予算(案)

令和6年度若年技能者人材育成支援等事業特別会計収支予算(案)

令和6年度やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ特別会計収支予算(案)

令和6年度財政調整積立金特別会計収支予算(案)

(2) 理事会の開催

1) 第1回理事会を、令和6年4月23日(火)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、組織数33のところ委任状提出者を含め32名により、第46回通常総会に提出する議案を審議し、原案どおり承認された。

2) 第2回理事会を令和7年1月16日(木)午後4時から、ベルクラシック甲府において開催し、組織数33のところ委任状提出者を含め31名により、令和6年度事業執行状況、収支補正予算、令和7年度事業計画(案)、収支予算(案)等について審議し、原案どおり承認可決された。

(3) 常任理事会の開催

第1回常任理事会を、令和6年10月24日(木)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて開催し、第45回山梨県職業能力開発関係表彰式における被表彰者の選考を行った。

(4) 監事会の開催

令和6年4月17日(水)午後2時から、当協会において令和5年度事業執行状況及び令和5年度収支決算について、監事により監査が行われた。
その結果、事業執行及び会計事務等は正確かつ適正に処理されていることが確認され、その状況が第46回通常総会において報告された。

2. 会員の加入状況

会員の3月末現在の状況は、次のとおりである。

会員の区分	会員数	前年度 末数	比較 増減	増減内訳	
				入会	退会
特 別 会 員	8	8	0	0	0
正 会 員	310	319	-9	2	11
認定職業訓練会員	19	19	0	0	0
団 体 会 員	45	50	-5	0	5
企 業 会 員	246	250	-4	2	6
合 計	318	327	-9	2	11

3. 職業能力開発推進事業の実施状況

(1) 職業訓練指導員講習(48時間講習)の実施

職業訓練指導員養成のための48時間講習を1回(6/17～19、24～26)実施して、13名が修了した。

(2) 企業内教育訓練に講師派遣

企業内における従業員の教育訓練について、次のとおり事業所等の要請に応じて、管理監督者訓練等に講師を派遣した。

コース名	コース	受講人員		コース	受講人員
改善の仕方	1	6	中堅社員	3	19
人の扱い方	1	10	新入社員訓練	5	120
業務評価者研修	1	38	接遇	1	13
パソコン講座	6	45	仕事の教え方	2	18
2年次フォローアップ	1	3			

21 コース

272人

(3) 普通職業訓練の実施

職業訓練の認定を受けて、次のとおり一般社員・管理監督者、パソコン技法、資格取得等の講習会を実施した。

一般社員講座	8 コース	受講者	125 人
管理監督者講座	4		33 人
計	12		158 人

(4) 関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議への参加

茨城県が担当となり、職業能力検定・職業能力開発を推進する際の諸問題等について、下記により研究討議を行った。

◇第66回関東・甲信越職業能力開発協会連絡会議

月 日 令和6年9月19～20日

場 所 茨城県水戸市「ホテルレイクビュー水戸」

出席者 37名

(5) 令和6年度職業能力開発関係表彰式

人材開発促進月間の11月20日(水)午後1時30分から、東京都港区「明治記念館」において、厚生労働大臣及び中央職業能力開発協会会長表彰が行われ、県内関係者では次の方々が、表彰の栄誉を受けられた。

(厚生労働大臣表彰)

- ・技能検定関係功労者 吉澤秀雄 氏
- ・職業訓練教材コンクール 永田靖貴 氏

(中央職業能力開発協会会長表彰)

- ・技能検定事業関係事業所 (株)前田製作所山梨営業所
- ・技能検定事業関係技能検定委員 上條優 氏

(6) 職業能力開発経験交流プラザの開催

令和7年2月18日(火)「職場の未来を変える人材育成」をメインテーマに、職業能力開発経験交流プラザを開催した。

今年度は79人の参加をいただく中で、(株)マルアイの村松幸樹氏による「地方企業が成長するための人材育成の仕組みづくり」の企業事例講演を、会場参加とオンライン配信の両方で行い、講演後には会場参加者による意見交換会を実施した。

(7) 教育研修用教材の提供

教育研修用DVDの無料貸出は、年度始まりの4月には新入社員研修関係の利用が多く、その後は、安全活動や危機管理対策などの分野を中心に、幅広い分野で貸出を行っている。

3月末現在の貸出状況は、次のとおりである。

40事業所 113巻

(8) ものづくり講座の開催

地域住民へのサービスを目的に、生活に生かせる技能を習得するための「松のミドリ摘み教室」「松の手入れ教室」「ふすまのはりかえ教室」や、親子を対象とした「正月飾りづくり」「クリスマス飾りづくり」を実施した。

講座には県内各地より39名が参加し、講師の指導のもとで熱心に実技に取り組んだ

4. 職業能力検定事業の実施状況

(1) 技能検定の実施

県が公示した令和6年度技能検定実施計画に基づいて、受検申請を受け付けた。

その結果、年間で201職種265作業に及んだ。

総合の受検状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	5年度	比較増減
前期	受検者	—	207	0	303	295	436	1,241	1,326	-85
	合格者	—	81	0	128	215	294	718	745	-27
	合格率	—	39.1	0.0	42.2	72.9	67.4	57.9	56.2	1.7
後期	受検者	23	106	0	199	289	730	1,347	1,002	345
	合格者	11	47	0	96	193	351	698	510	188
	合格率	47.8	44.3	0.0	48.2	66.8	48.1	51.8	50.9	0.9
計	受検者	23	313	0	502	584	1,166	2,588	2,328	260
	合格者	11	128	0	224	408	645	1,416	1,255	161
	合格率	47.8	40.9	0.0	44.6	69.9	55.3	54.7	53.9	0.8

(2) 学科試験の実施状況

学科試験は全国統一実施日として、前期は7月14日、8月18日、25日、9月1日に後期は令和7年1月26日、2月2日、9日に実施した。

その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	5年度	比較増減
前期	受検者	—	128	0	207	274	361	970	1,051	-81
	合格者	—	75	0	131	222	292	720	785	-65
	合格率	—	58.6	0.0	63.3	81.0	80.9	74.2	74.7	-0.5
後期	受検者	23	62	0	153	270	534	1,042	804	238
	合格者	12	42	0	117	224	363	758	600	158
	合格率	52.2	67.7	0.0	76.5	83.0	68.0	72.7	74.6	-1.9
計	受検者	23	190	0	360	544	895	2,012	1,855	157
	合格者	12	117	0	248	446	655	1,478	1,385	93
	合格率	52.2	61.6	0.0	68.9	82.0	73.2	73.5	74.7	-1.2

(3) 実技試験の実施状況

実技試験は、前期は6月初旬から9月上旬までの間に実施し、後期は1月初旬から2月中旬にかけて実施した。

その実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

前後期	区分	特級	1級	単一等	2級	3級	随時	計	5年度	比較増減
前期	受検者	—	184	0	279	278	405	1,146	1,204	-58
	合格者	—	80	0	143	235	351	809	833	-24
	合格率	—	43.5	0.0	51.3	84.5	86.7	70.6	69.2	1.4
後期	受検者	14	94	0	167	280	682	1,237	920	317
	合格者	10	47	0	95	215	576	943	611	332
	合格率	71.4	50.0	0.0	56.9	76.8	84.5	76.2	66.4	9.8
計	受検者	14	278	0	446	558	1,087	2,383	2,124	259
	合格者	10	127	0	238	450	927	1,752	1,444	308
	合格率	71.4	45.7	0.0	53.4	80.6	85.3	73.5	68.0	5.5

(4) 技能五輪山梨県大会の実施状況

技能五輪は、職業訓練の振興と青年技能者の国際交流と親睦を図ることを目的として開催されている。

山梨県大会は全国大会に派遣する選手を選抜する予選として実施され、技能検定実技試験と併せて行い、一定水準の成績を収めた者には技能証が交付される。

その実施状況は、次のとおりである。

区分	予選参加者数	技能証該当者	技能証交付数
前期	80	4	3
後期	11	0	—

(5) 実技試験水準調整会議の実施

技能検定実技試験の円滑な運営実施を図るための水準調整会議は、技能検定委員の委嘱とともに、実施計画の日程調整を兼ねて、前・後期の受検申請者確定後に採点基準や事前準備等についての打ち合わせ会を開催した。

(6) コンピュータサービス技能評価試験の実施

コンピュータを活用したサービスを行う人の能力を評価し、技能習得意欲を増進させるとともに社会一般の評価を高め、この業務に従事する人々の社会的・経済的地位の向上を図ることを目的として、全国的に実施しているものである。

試験方法は、実際に機器を操作して問題进行处理する実技試験を行い、昭和61年度から認定施設制度を設けて実施している。

本年度は、認定施設(14施設)で5月から令和7年3月にわたり、試験を実施した。その実施状況は次のとおりである。

区分	ワープロ部門			表計算部門		
	受験者 人	合格者 人	合格率 %	受験者 人	合格者 人	合格率 %
1級	0	0	0.0	0	0	0.0
2級	8	7	87.5	9	9	100.0
3級	25	24	96.0	47	46	97.9
計	33	31	93.9	56	55	98.2

受験者総数
89 人

(7) ビジネス・キャリア検定試験の実施

ビジネス・キャリア検定試験は、厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠し、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験であり、全国的に実施しているものである。

試験は筆記試験で行われ、前期は令和6年10月6日に実施して、後期は令和7年2月16日に実施した。

試験の実施状況は、次のとおりである。

(単位:人 合格率:%)

試験分野	前期			後期		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
人事・人材開発・労務管理	5	2	40.0	3	3	100.0
経理・財務管理	2	0	0.0	1	0	0.0
営業・マーケティング	3	2	66.7	3	1	33.3
生産管理	27	11	40.7	27	11	40.7
企業法務・総務	5	1	20.0	5	5	100.0
ロジスティクス	13	4	30.8	9	5	55.6
経営情報システム	0	0	0.0	1	1	100.0
経営戦略	0	0	0.0	4	3	75.0
合 計	55	20	36.4	53	29	54.7

受験者総数 108 人
年間合格率 45.4 %

5. 山梨県立中小企業人材開発センター運営管理事業

平成2年3月、山梨地域職業訓練センター(県称:山梨県中小企業人材開発センター)は事業主等が雇用する労働者に対し、また、各種団体等が地域住民に対し、多様な教育訓練を行う場として、さらには、技能検定試験の拠点となるよう雇用促進事業団が設置して、山梨県を通じて当協会が施設の運営管理を受諾した。

平成23年度には当施設が山梨県に譲渡され、山梨県立中小企業人材開発センターと名称し、その運営管理を当協会が指定管理者として受託した。

その後も、指定管理者制度のもと平成24年度から運営管理を行い、最新の状況は令和3年から4年間の委託期間の中で、施設利用の拡充に努めた。

3月末での利用状況は、次のとおりである。

(人)		利用 率		
区 分	利用延人員	最高	9月	57.85%
研修会・講習会	25,727	最低	4月	26.24%
技能検定	8,663	年 間		48.08%
その他	6,815	利用日数		333/342日
合 計	41,205			

※ 利用率＝利用室数／利用可能室数
(11室×利用可能日)

※ 利用日数＝開館利用日数
分母は、利用可能日数
365日－(祝日＋年末年始＋消毒日＋利用不可日)

6. 若年技能者人材育成支援等事業

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度の技能を有する技能者の育成等が課題となっており、昨年度に引き続き、厚生労働省の委託事業として、山梨県内において事業展開をしている。県内で取り組んでいる事業は、次のとおりである。

- (1) ものづくりマイスター等を活用した事業
 - ア. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 56 件
 - イ. ものづくりマイスター、ITマスターの認定者数 9 人(累計 162 人)
 - ウ. 実技指導の実施(延べ受講者数)
 - (企業・業界団体:12社、工業高校等:6校) 2,187 人
 - エ. ものづくりの魅力の発信(小学校での体験教室) 1,161 人(学校17、地域2)
- (2) 地域における技能振興事業
 - ア. 技能五輪全国大会の参加選手等への援助 3 職種、6人
 - イ. 若年者ものづくり競技大会の参加選手等への援助 2 職種、2人
- (3) 連携会議の開催 2 回

7. 第43回山梨県技能まつりの開催

第43回山梨県技能まつりは、11月の人材開発促進月間行事の一環として、また、県民の日記念行事に協賛して、県、当協会及び技能士会連合会の三者共催により、11月17日(日)に小瀬スポーツ公園を会場として開催された。

当日は、職業訓練生などが製作した作品の展示即売や、ものづくり体験コーナーが設けられ、多くの人で賑わった。

8. 山梨県職業能力開発関係表彰式

人材開発促進月間の行事の一つとして、11月28日(木)午後2時から山梨県立中小企業人材開発センターにおいて、技能者表彰、職業訓練関係功績者等の知事表彰、山梨県職業能力開発協会長表彰、山技連会長表彰や、全国表彰受賞者の披露が行われた。

9. 第19回若年者ものづくり競技大会への選手派遣

第19回若年者ものづくり競技大会は、令和6年7月31日、8月1日の両日、群馬県高崎市「Gメッセ群馬」を主会場として、全国から原則20歳以下の若者354名が、15職種に参加して大会が開催された。

本県からは、木材加工職種に1名、電子回路組立て職種に1名の計2名が参加した。

10. 第62回技能五輪全国大会への選手派遣

第62回技能五輪全国大会は、令和6年11月22日から11月25日までの間、愛知県常滑市「愛知県国際展示場」を主会場として、全国から青年技能者976名が、41職種に参加して大会が開催された。

本県からは旋盤職種2名、貴金属装身具職種4名、左官職種1名、とび職種1名の計8名が参加したところ、貴金属装身具職種の土田里彩子選手（県立宝石美術専門学校）が銀賞、下出晏慈選手（㈱オギハラ）が銅賞を受賞した。

11. やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ設置運営事業

山梨県が提唱する「豊かさ共創社会の実現」を目指し、リスクリングの推進拠点となる「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」は、当協会が事業の委託元となり（株）NTT DX パートナーを運営者に選定して、事業を展開している。

スリーアップ（スキルアップ、収益アップ、賃金アップ）の好循環構築に繋がる、本事業の3月末現在の実施状況は、次のとおりである。

コース名	コース	受講人員		コース	受講人員
経営マネジメント	基礎	26	コミュニケーション	基礎	28
経営マネジメント	応用	22	コミュニケーション	応用	25
DX実践	基礎	24	ものづくり	基礎	6
DX実践	応用	29	ものづくり	応用	11
DX実践	特別	18	観光経営		16

205人

12. その他

令和6年9月に会報「山梨の能力開発」No.91を、また令和7年3月にNo.92を、発行及び配布した。